

公益社団法人日本動物学会中国四国支部令和3年役員会議事録

令和3年6月19日(土) 9:30~10:50

オンライン (zoom) 審議

出席者(敬称略)：彦坂 暁(支部長)，富岡 憲治(理事)，植木 龍也(支部代表)，
箕田 康一，森下 文浩，椋田 崇生，高田 裕美，広橋 教貴，佐藤 伸，宇田 幸司，
山中 明，清水 克彦，藤原 滋樹，浮穴 和義，村上 安則，山口 陽子，坂本 浩隆，
濱田 麻友子，吉田 将之，有本 飛鳥，小林 勇喜(以上役員)

開会にあたり、役員の自己紹介があり、箕田康一委員(三学会開催地元県委員として)なら
びに彦坂暁支部長より挨拶があった。

○報告事項

1) 理事報告

彦坂暁支部長より、2020年9月移行の理事会(第2~5回)の報告があった。

○2020年の選挙により多くの支部で支部代表委員の割り当てが減少(中四国支部では2名か
ら1名へ)。

→ 定年後の会員が高齢会員に移行し、一般会員数が減少したことによる。支部代表委員は、
賞等の選考委員の選考母体であるため、今後、どのような方策を取るべきか議論してい
る。

○稲葉一男会長をはじめとする理事会新体制の紹介。

○米子大会の実施方法(新型コロナ感染拡大によりオンライン化)、準備状況の報告。

○会員数が減少(2000人を割り込む)。新型コロナウイルスとの関連は不明。

○次年度の支部活動費は150,000円(支部会費収入は142,400円であったが、最低限150,000
円は配分される)。

○2022年の全国大会は早稲田大学でオンサイトが基本方針。2023年度は山形大学の予定。

○東北支部で行われていたフォトコンテスト全国版に拡大したいという意向が伝えられた。

フォトコンテストに関して、役員から以下の意見が出された。

- ・いつ頃、具体的なやり方をきめるのか。
- ・支部→本部の2段階審査をする意味はあるのか。
- ・盗用・盗作のチェックはどうするのか。支部でどこまで行うか。
- ・評価基準に関して(写真の質と学術的な価値、そのバランス)。
- ・投稿者に注釈をつけてもらう(本部に支部の結果を上げる際にも?)。
- ・支部単位で行う行事が少ないため、支部審査を前向きに捉えても良いかもしれない。
- ・フォトコンテストの支部での審査は企画委員が行っても良いかもしれない。

2) 庶務幹事報告

小林勇喜庶務幹事より、支部役員・会員数について報告があった。

① 本年度支部役員について

支部長	彦坂 暁	広島大・院・統合生命
理事	富岡 憲治	岡山大・院・自科
支部代表	植木 龍也	広島大・院・統合生命
県委員	村上 柳太郎	山口大・院・創成科学
	箕田 康一	徳島文理大・理工
	森下 文浩	広島大・院・統合生命
	棕田 崇生	鳥取大・医
	高田 裕美	愛媛大・院・理工
	広橋 教貴	島根大・生命科
	佐藤 伸	岡山大・異分野融合先端研究コア
	宇田 幸司	高知大・自然系・理工
	真壁 和裕	徳島大・院・社会産業理工
企画委員	山中 明	山口大・院・創成科学
	清水 克彦	鳥取大・地域価値創造研究機構
	藤原 滋樹	高知大・自然系・理工
	浮穴 和義	広島大・院・統合生命
	村上 安則	愛媛大・院・理工
	真壁 和裕	徳島大・院・理工
	山口 陽子	島根大・生命科
	箕田 康一	徳島文理大・理工
	坂本 浩隆	岡山大・理・臨海
HP 委員	濱田 麻友子	岡山大・理・臨海
会計監査	吉田 将之	広島大・院・統合生命
会計	有本 飛鳥	広島大・院・統合生命 (臨海)
庶務	小林 勇喜	広島大・院・統合生命

支部所在地： 〒739-8526 広島県東広島市鏡山 1-3-1

広島大学理学部 A313

TEL: 082-424-7444 FAX: 082-424-0734

E-mail: kozue@hiroshima-u.ac.jp

②支部会員数について

2009	平成21年	275名		
2010	平成22年	277名		
2011	平成23年	276名		
2012	平成24年	296名		
2013	平成25年	305名		
2014	平成26年	310名		
2015	平成27年	297名		
2016	平成28年	302名		
2017	平成29年	286名		
2018	平成30年	264名		
2019	令和01年	256名		
2020	令和02年	256名		
2021	令和03年	248名	(-8名)	6月11日現在

愛媛	13名 (-1)
岡山	62名 (-13)
香川	7名 (+1)
広島	81名 (+2)
高知	10名 (+1)
山口	28名 (+4)
徳島	9名 (-2)
鳥取	16名 (+2)
島根	22名 (-1)
その他	0名 (-1)

3) 会計幹事報告

有本飛鳥会計幹事より、別紙1,2のとおり令和元年度支部会計決算（令和元年7月1日～令和2年6月30日）および令和2年度決算見込み（令和2年7月1日～令和3年6月19日現在）について報告があった。

・令和2年度決算見込みにて、74,584円が本部へ返金される旨の報告があった。これは、新型コロナウイルスによる事業中止（支部大会等）に起因する一過性のものであることが説明された。

4) 会計監査報告

吉田将之会計監査より、令和元年度支部会計決算は適正な会計処理が行われていることを確認したとの報告があった。

5) 県委員・企画委員報告

各県委員からの報告をもとに小林勇喜庶務幹事から以下に関して報告があった。

○佐藤 岡山県委員報告

名称：岡山県例会

日時：令和2年10月14日（水） 16:30～18:00

場所：岡山大学津島キャンパス 理学部

内容：研究紹介セミナー

参加者：30名

○広橋 島根県委員報告

2020年11月13日 生物系コース特別セミナー（対面・オンラインハイブリッド）

開催場所：島根大学

講師：徳元俊伸教授 生物科学科 大学院総合科学技術研究科理学専攻

○宇田 高知県委員報告

「土佐生物学会」を令和2年12月に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し中止した。

○村上 山口県委員報告
例年行っている「サイエンスワールド」という科学イベントはコロナのため中止となった。

○高田 愛媛県委員報告
例年12月初旬に実施している愛媛県例会は対面での実施が難しく中止にした。

○森下 広島県委員報告
例年、ポスター形式の県例会を3月に開催してきたが、コロナのため中止となった。

6) 2021年度米子大会について

椋田宗生鳥取県企画委員より、日本動物学会第92回米子大会の現状、実施方法について報告があった。

- ・ギャザータウンをベースとしたオンラインで開催する。
- ・一般公開行事に関して：動物学会広場、公開講演はオンラインとオンサイト（中四国からの参加者限定）で行う。高校生発表はオンラインポスター（質疑は掲示板形式）で行う。

7) その他 特になし

○審議事項

1) 次年度事業計画について

各県委員からの意向を含め、小林勇喜庶務幹事から以下に関して提案があった。

① 次年度支部大会について

48回	(平成8年)	岡山	
49回	(平成9年)	愛媛	
50回	(平成10年)	鳥取	(広島で植物学会)
51回	(平成11年)	高知	
52回	(平成12年)	広島	
53回	(平成13年)	山口	
54回	(平成14年)	香川	
55回	(平成15年)	島根	
56回	(平成16年)	徳島	
57回	(平成17年)	岡山	
58回	(平成18年)	愛媛	
59回	(平成19年)	鳥取	
60回	(平成20年)	広島	(高知で植物学会)
61回	(平成21年)	高知	
62回	(平成22年)	山口	
63回	(平成23年)	香川	
64回	(平成24年)	島根	

65回	(平成25年)	徳島	(岡山で動物学会)
66回	(平成26年)	岡山	
67回	(平成27年)	愛媛	
68回	(平成28年)	鳥取	
69回	(平成29年)	高知	
70回	(平成30年)	山口	(広島で植物学会)
71回	(令和元年)	広島	
72回	(令和3年)	(香川)	
次回予定:	73回	(令和4年)	(島根)
次々回予定:	74回	(令和5年)	(徳島)

次回は島根県で開催することを総会に提案することが承認された。
また、令和3年は徳島県で開催する方向が確認された。

② 県例会等について

○山口県

山口大学理学部サイエンスワールド 2021

日時：2021年10～11月(未定)

場所：山口大学吉田キャンパス

○愛媛県

愛媛県例会

日時：2021年12月初旬(予定)

場所：愛媛大学(状況によっては Teams などによるオンライン開催も検討する予定)

○高知県

土佐生物学会

日時：2021年12月(予定)

場所：高知大学理工学部

○鳥取県

電子顕微鏡写真コンクール(仮称) (「電子顕微鏡のまち・米子市」推進協力会主催)
の後援

日時：2022年3月(予定)

○岡山県

岡山県例会

日時：2022年3月(予定)

場所：岡山大学理学部

○広島県

広島県例会

日時：2022年3月(予定)

場所：広島大学(予定)

○島根県
中国四国地区生物系三学会合同大会島根大会
日時：2022年5月（予定）
場所：未定

令和3年度の県例会等の実施について総会に提案することが承認された。

2) 次年度支部予算案について

有本飛鳥会計幹事より、令和3年度支部会計予算について、令和3年7月1日～令和4年6月30日の支出計画案（別紙3）が提出され、総会に提案することが承認された。

・繰越金を考慮し、支部大会援助金の削減（現在は100,000円）が提案され、次々年度以降の課題とした（参考：生態学会100,000円、植物学会30,000円）。

3) 総会の次第について

原案通り了承された。

4) 三学会香川大会：若手研究者優秀発表賞の選考について

選考方法について彦坂暁支部長から提案があり、議論の結果、以下の方法で選考を行うことが決まった。

①オンラインでの選考方法について

- ・選考は支部役員によるオンライン投票とする
- ・大会に参加登録していない役員も口頭発表を聴いて投票に参加する
- ・投票には Google フォームを使用し、10:30-11:30 の間に投票を行う
設定：Google にログインが必要
無記名での投票
回答は1回に制限（最大2人まで投票可）
集計結果は全員で閲覧可能
- ・投票の URL は選考委員にメールでお知らせする

②受賞者数について

- ・受賞者数は最大2名とする
- ・最終的な判断は、支部長と三学会開催権の県委員（今回であれば、彦坂暁先生と箕田康一先生）に一任する。

5) その他 特になし

令和元年度 公益社団法人 日本動物学会中国四国支部 決算
(令和元年7月1日～令和2年6月30日)

収入の部		予算	決算			
繰越金		¥136,200	¥136,200			
支部活動費		¥171,200	¥171,200			
預金利息		¥2	¥2			
		¥307,402	¥307,402			
支出の部		予算	内訳	執行額	内訳	
事業費		¥156,000		¥26,000		
	支部大会援助金(香川大会)		¥100,000		¥0	
	シンポジウム援助金(香川大会)		¥15,000		¥0	
	若手研究者優秀発表賞援助金		¥15,000		¥0	
	県例会援助金		¥26,000		¥26,000	
						広島県 ¥5,000
						岡山県 ¥5,000
						山口県 ¥3,000
						島根県 ¥3,000
						愛媛県 ¥2,000
						鳥取県 ¥2,000
						香川県 ¥2,000
						高知県 ¥2,000
						徳島県 ¥2,000
選挙費		¥11,000		¥0		
通信運搬費		¥5,000		¥5,616		
					¥756	返送用84円切手9枚
					¥189	現金書留封筒9枚(1枚21円)
					¥4,671	現金書留郵送料9通(1通519円)
給料手当		¥30,000		¥30,000		
	庶務幹事手当		¥10,000		¥10,000	
	会計幹事手当		¥10,000		¥10,000	
	ホームページ委員手当		¥10,000		¥10,000	
雑費		¥2,000		¥0		
謝金		¥5,000		¥0		
消耗品費		¥5,000		¥0		
小計		¥214,000		¥61,616		
予備費		¥93,402		¥245,786		次年度繰越
計		¥307,402		¥307,402		

令和2年度 公益社団法人 日本動物学会中国四国支部 決算見込み
(令和2年7月1日～令和3年6月19日現在)

収入の部		予算		決算			
繰越金		¥171,202		¥245,786			
支部活動費		¥150,000		¥150,000			
預金利子		¥2		¥2			
		¥321,204		¥395,788			
支出の部		予算	内訳	執行額	内訳		
事業費		¥156,000		¥156,000			
	支部大会援助金(香川大会)		¥100,000		¥100,000		
	シンポジウム援助金(香川大会)		¥15,000		¥15,000		
	若手研究者優秀発表賞援助金		¥15,000		¥15,000		
	県例会援助金		¥26,000		¥26,000	広島県	¥5,000
						岡山県	¥5,000
						山口県	¥3,000
						島根県	¥3,000
						愛媛県	¥2,000
						鳥取県	¥2,000
						香川県	¥2,000
						高知県	¥2,000
						徳島県	¥2,000
選挙費		¥0		¥11,000			
通信運搬費		¥5,000		¥6,409			
					¥275	送金手数料	
					¥366	送金手数料	
					¥152	送金手数料	
					¥756	返送用84円切手9枚	
					¥189	現金書留封筒9枚(1枚21円)	
					¥4,671	現金書留郵送料9通(1通519円)	
給料手当		¥30,000		¥30,000			
	庶務幹事手当		¥10,000		¥10,000		
	会計幹事手当		¥10,000		¥10,000		
	ホームページ委員手当		¥10,000		¥10,000		
雑費		¥2,000		¥0			
謝金		¥5,000		¥0			
消耗品費		¥5,000		¥0			
小計		¥203,000		¥203,409			
返金(本部)		¥0		¥74,584			
予備費		¥118,204		¥117,795		次年度繰越	
計		¥321,204		¥395,788			

令和3年度 公益社団法人 日本動物学会中国四国支部 予算案

(令和3年7月1日～令和4年6月30日)

令和3年度 公益社団法人 日本動物学会中国四国支部 予算案 (令和3年7月1日～令和4年6月30日)			
収入の部		予算	
繰越金		¥117,795	(見込み)
支部活動費		¥150,000	
預金利子		¥2	
		¥267,797	
支出の部		予算	内訳
事業費		¥156,000	
	支部大会援助金		¥100,000
	シンポジウム援助金		¥15,000
	若手研究者優秀発表賞援助金		¥15,000
	県例会援助金		¥26,000
選挙費		¥11,000	
通信運搬費		¥5,000	
給料手当		¥30,000	
	庶務幹事手当		¥10,000
	会計幹事手当		¥10,000
	ホームページ委員手当		¥10,000
雑費		¥2,000	
謝金		¥5,000	
消耗品費		¥5,000	
小計		¥214,000	
予備費		¥53,797	
計		¥267,797	